

独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第5号

令和5年4月21日発行

中学生になって その2

今回はC組とD組の作文を紹介します。

この作文を書いていた時よりも、中学校生活に慣れてきていたら嬉しいです。

<敬称略>

C組

この春、緊張とわくわくの中、ぼくは、ひばりが丘中学校に入学しました。ぼくは、この中学校生活三年間を充実したものにするために特にがんばりたいことが二つあります。

第一は、みんなと協力することを常に忘れないことです。なぜなら、中学校では勉強以外にも難しくなることが増えるからです。一人で全てをやろうとするのではなく、できなかつたら、他の人に頼ることも大切だと思います。しかし、自分は、何もやらずにみんなに全てを任せっきりにすることは、自分の身にもつかないし、みんなに迷惑をかけることになるので、絶対にやらないようにしたいです。第二は、やりたいこととやらなければならないことをしっかり区別することです。やらなければならないことは、大切ですが、自分のやりたいことをずっと我慢していたら、ストレスで集中力が落ちてしまい、やらなければならないこともうまくできなくなってしまうと思います。だから、ぼくはこれからやらなければならないこととやりたいことをバランス良く両方やることを意識していきたいです。

中学生になったら、難しいことや、大変なことも増えると思いますが、楽しいことも増えます。だから、この二つのことをがんばり、中学校生活を心から楽しみたいです。

C組

ついに待ち望んでいた中学校生活が始まりました。入学式、新しい教室、先生、クラスメイトに、私は不安とドキドキが止まりませんでした。登校日一日目、周りは新しい友達をつくっていく中、私は一人で席に座っていました。あの子、もう新しい友達つくってる。友達って、どうやってつくるんだっけ。小学校にもどりたい。この前なんて、早く中学生になりたいと思っていたのに。私、このクラスでやっていけるのかな。不安な気持ちがうず巻いていました。その日、ビンゴをする時間があり、自分から話しかけないとマスがうめられないので、私はみんなに話しかけました。みんなを知る良い機会になりました。それから、何人か私に話しかけてくれる子がいました。友達ができると、やっぱり心強くて、不安な気持ちが少しずつ無くなっていきました。中学校は小学校と全然違って、分からないことが多いし、中学生になってできなくなったこと、できるようになったことがたくさんあります。なれないことが色々あって、まだまだ不安な気持ちはなくなりません。ですが、部活動や授業、行事など不安な気持ちと同じくらい楽しみな気持ちがあります。これから先、悲しいことやくじけそうなおことがあると思います。私は、楽しい、うれしいという感情も、つらい、悲しいという感情も大切にしたいと思っています。だから無理をせず、自分なりの、自分の頂点を目指してがんばります！よろしくおねがいします！



D組

ぼくが中学生でがんばりたいことは、みんなとのコミュニケーションです。

ぼくが、このことをがんばりたいと思った理由は、中学生になってまだ知らない人もいるから、話したりして友達をもっと増やしたいからです。ぼくは、みんなとコミュニケーションがとれるか不安です。なぜなら自分は人見知りなところがあるからです。

ぼくは小学生の時、一年生がダメなことをしているとき何も声をかけず、スルーしたので、話しかけてみるのがすごく大事だなと思いました。自分から話しかけることで、相手も話しやすくなると思いました。どんなきっかけでもよいので、自分から話しかけてみたいと思いました。

中学生は、また0からのスタートです。大人に一歩でも近づけられるように、良いスタートダッシュをきりたいです。なんでも「自分から」ということを大事にして、色んな人に声をかけていきたいです。友達はいっぱいいるほうがすごく楽しい中学校生活が送れると思うので、どんどん友達を増やしていきたいと思いました。

D組

小学生の時、まだランドセルを背負って登校する私は、制服を着こなし、中学校へと登校していく中学生にとっても憧れていました。「もうすぐ、中学生になるんだ。」私は中学生になるまで、毎日毎日考えていました。また、それと共に、中学生としての自覚や責任を感じました。小学生だから甘く見て貰える事、中学生だから考えて行動しなければいけないことなど、自分の責任の重みについて考えました。

中学校入学式当日、朝早く起き、まだ着慣れない制服を着ました。そして鏡にうつっている自分は、どこか中学生に向けて歩みだそうとしているように見えました。今までただ憧れる事しか出来なかった自分が、ついに中学生になろうとしている。そんな自分をうれしく思いました。その反面、自律し、善悪を自らの力で判断出来るような中学生になれるように努力しようと思いました。中学生は、小学生の時のように、廊下を全速力で走ったりせず、授業開始のチャイム1分前には、自分から席に座りにいく、そんな姿の中学生になれるよう、意識を高め、強い責任をもち、考えてから行動できるようにしたいです。

そして最終的には、自分たちが下級生から憧れられる存在になれるよう、中学生という新たな自分に大きな期待を詰め込んでいきたいです。

